

Q:	逆転機は車でいうトランスミッション(変速機)でしょ？ じゃあ、走行中に逆転機で反転させて「エンジンブレーキ」をかけることはできるの？
A:	蒸気機関車では、この操作は、緊急事態以外は行わないそうです。このような操作をすると、機関車が壊れてしまうそうです。 (実は海外で、実験的に、この、エンジンブレーキみたいな方法で止まる蒸気機関車が作られたのですが、すぐに壊れてしまったらしいです。)

加減弁テコハンドル

③加減弁テコハンドル…蒸気機関車は、水が沸騰してボイラー上部、蒸気溜に溜まった蒸気を、蒸気溜の中の加減弁という弁を開き、さらにボイラーで過熱してシリンダーに送って動きますが、そのシリンダーに送る蒸気の量を加減する、弁を動かすためのハンドルです。車でいうとアクセルに当たります。
(⇒p35「蒸気ドーム(加減弁)」)



単独ブレーキ弁・自動ブレーキ弁



④単独ブレーキ弁…機関車だけにブレーキをかけたり、緩めたりします。

(弛め/運転/重なり/緩ブレーキ/急ブレーキ、の5段階です。)

単独ブレーキは圧縮空気の圧力によって作動します。)

⑤自動ブレーキ弁…機関車を含め、列車全体のブレーキをかけたり、緩めたりします。

(弛め・込め/運転/保ち/重なり/常用ブレーキ/非常ブレーキ、の6段階です。)

機関車は圧縮空気の力によってブレーキが作動しますが、繋がれた車両は、あらかじめ車両内の空気タンクに空気を溜めておき、ブレーキ管内の圧力が下がることによって車両の空気タンクからの空気でブレーキのピストンが押し出すことによってブレーキが作動します。つまり、ブレーキ管の圧力が下がるとブレーキがかかり、ブレーキ管の圧力が上がると、ブレーキは緩みます。

⑥圧力計…ブレーキには圧縮空気を使用するのですが、(左)ブレーキシリンダ、(右)空気溜、の圧力を指します。(⇒p32「圧縮空気・元空気溜」)

もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまう
した。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会